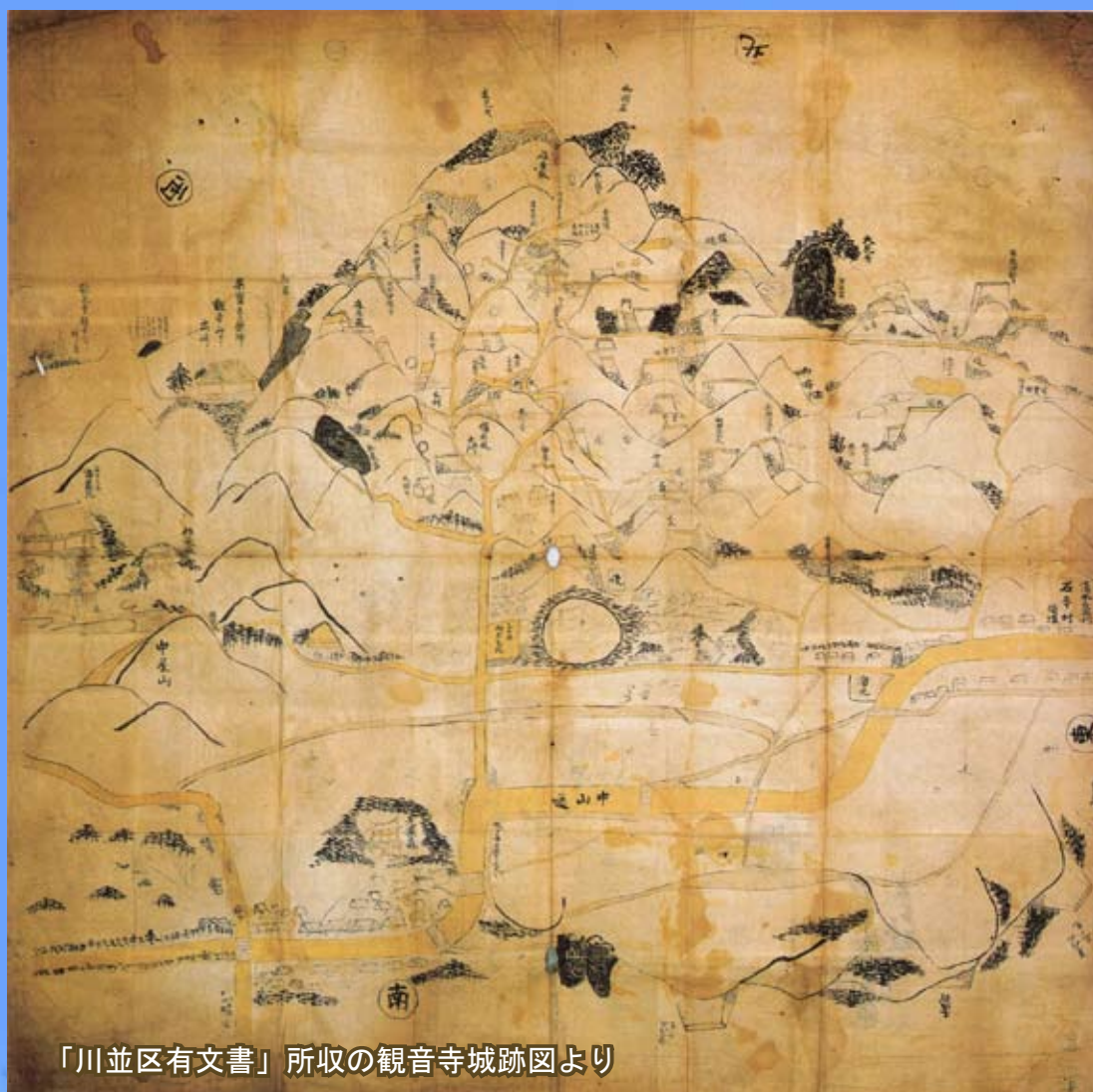


観音寺騒動で謀殺された、悲運の重臣

後藤賢豊とその邸跡



「川並区有文書」所収の観音寺城跡図より

大永 3 年（1523 年）、当時の六角当主「定頼」は、観音寺城に家臣を集めるための改修を命じ、これを機に観音寺城は、軍事拠点としてよりもむしろ、政治拠点としての意味合いが強まりました。

この絵図を見ると、観音寺城の政治拠点としての一端を垣間見る事ができます。大手道と伝承されている幹線は「本丸」には向かっておらず、有力家臣の邸が集まる山頂方向に延びています。この絵図は決して精密なものではありませんが、大手道が当主の邸よりもむしろ、家臣の邸との往来に重要な役割を果たしていた事が分かります。そして後藤賢豊はこの大手道の要所に巨大な邸を構え、当主をしのぐほどの権勢を振いました。

観音寺騒動で、主君である六角義治に謀殺された後藤賢豊は、中羽田町の後藤館の他、雪野山城と佐生城を構え、観音寺城内にも邸を構えていました。それぞれ居館、軍事拠点、政治拠点として役目を担っていました。なかでも観音寺城内の後藤邸はその規模さも含ることながら、総石垣造りの豪華さは、別格であると言えます。

大手道を山の中腹あたりまで登ると荘厳な後藤邸の石垣な目に飛び込んできます。道筋を見下ろすその威厳ある姿に圧倒され、敵方でもなくとも身構えてしまいそうです。



背景画像：伝後藤邸下段の石垣

新幹線からも見える
観音寺城の「のぼり旗」

後藤邸

城内の
城跡の大手道沿に残る、石垣で固められた
広大な邸跡。

澤田丸 三国丸

本丸

馬淵丸

三井丸

伊庭丸

大見付

布施
淡路丸

平井丸

池田丸

新藤

後藤

観音寺

伝後藤邸は、林道と伝大手道との
交差点の北、約百メートル。

伝大手道

伝道手道

林道

後藤邸の埋門

進藤邸との間の通路

後藤邸の中央通路

背景画像出典…余湖コレクション

後藤邸、下段の石垣と 邸の内部

邸内部の写真は、2010年2月21日に撮影

後藤邸下段の石垣

中央通路の入口

中央通路－破壊された石垣

中央通路－石段の道

中央通路－通路脇の石垣

中央通路－通路脇の石垣

中央通路－石段を登り切る手前

中央通路－石段右奥の石垣

郭内部の石垣

郭内部の石垣

郭内部の石垣

郭内部、進藤邸側－埋門のある石垣

埋門